

「循環経済等に資する魅力的な脱炭素ライフスタイル創出・浸透事業」 キックオフイベント・実証実験を実施します！

横浜市は、2050年までの脱炭素化「Zero Carbon Yokohama」を目指しています。温室効果ガスの排出削減を進め、Zero Carbon Yokohamaを実現するためには、市内全体の排出量の約3割を占める家庭部門の取組として、脱炭素化に資するライフスタイル（脱炭素ライフスタイル）の実践を進める必要があります。また、脱炭素化の取組により、市内経済の循環及び持続可能な発展を推進する必要があります。

そこで横浜市では、市民一人ひとりが脱炭素ライフスタイルの取組を進められるよう、「循環経済等に資する魅力的な脱炭素ライフスタイル創出・浸透事業」を開始しました。（別紙1参照）

今般、本事業の共同事業者である「あいおいニッセイ同和損害保険株式会社」（以下あいおいニッセイ同和損保）と共に、キックオフイベント及び実証実験を実施します。これに合わせ、キックオフイベントの参加者及び実証実験（試行）のモニターを募集します。

■ キックオフイベント「脱炭素ライフスタイルダイアログ」概要（別紙2参照）

- 1 概 要：事業の目的や取組内容を広く発信するキックオフイベントを実施します。
 - 2 日 時：令和5年2月14日（火）18：30～20：30（予定）
 - 3 会 場：YOXO BOX（横浜市中区尾上町一丁目6番 ICON 関内1階）／オンライン配信
 - 4 プログラム：主催者挨拶、事業説明、基調講演、トークセッション
 - 5 募集定員：会場30名／オンライン50名（事前申込制・無料・先着順）
 - 6 詳細・申込：<https://zerocarbon-230214.peatix.com>
 - 7 事務局：関内イノベーションイニシアティブ株式会社
- ※取材に関するお問合せは、下記「お問合せ先」までご連絡ください。



■ 実証実験（試行）概要（別紙3参照）

- 1 概 要：循環経済等に資する魅力的な脱炭素ライフスタイルに関し、その促進を図ることを目的とした実証実験を行います。今年度は、ライフサイクルでの排出量が多い「移動」と「食」を対象として実施します。
- 2 スケジュール：2月3日（金）モニター募集開始
2月15日（水）～3月15日（水）実証実験
- 3 モニター対象：横浜市に在住、在勤、通学する方 かつ iPhone を使用でき、専用アプリケーションをダウンロードして利用できる方（最大500名）
- 4 詳細・申込：https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/ondanka/etc/lifestyle_2023jissho.html
- 5 事務局：あいおいニッセイ同和損保



お問合せ先

<事業全体に関するお問合せ>

温暖化対策統括本部調整課担当課長 東田 建治 TEL 045-671-2336

<キックオフイベント、実証実験に関するお問合せ>

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 横浜支店地域戦略室 室長 安藤 憲嗣 TEL 045-211-1247

横浜市とあいおいニッセイ同和損保は、市民一人ひとりが脱炭素ライフスタイルの取組を進められるよう、循環経済等に資する魅力的な脱炭素ライフスタイルの創出・浸透を目的とした事業を実施しています（令和4年度から6年度までの3か年を想定）。

下記の5項目について実施予定

1 実証実験の実施

脱炭素ライフスタイルへの変容と脱炭素化に資するサーキュラーエコノミーの構築を目的とした実証実験

2 温室効果ガス削減効果の算出・表示

様々なライフスタイルに係るライフサイクルでの温室効果ガス排出量の算出・表示

3 ビジネスモデル・地域モデルに係るアイデアの創出

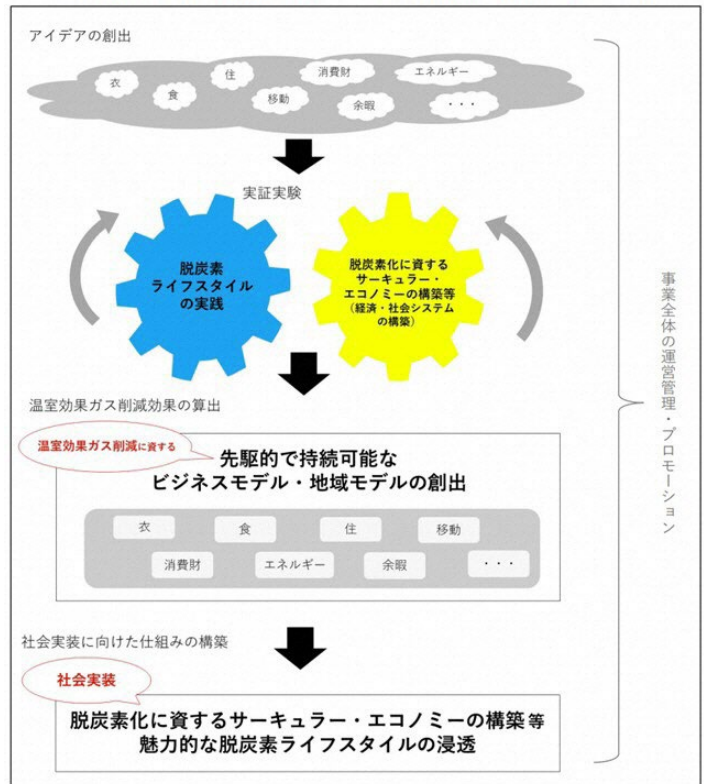
循環経済等に資する魅力的な脱炭素ライフスタイルの先駆的で持続可能なビジネスモデル・地域モデルに係るアイデアに関する、多様な主体と連携した創出

4 社会実装に向けた仕組みの構築

上記ビジネスモデル・地域モデルについて、多くの市民・事業者の参加による普及浸透

5 事業全体の運営管理・プロモーション

循環経済等に資する魅力的な脱炭素ライフスタイル創出・浸透事業 イメージ図



あいおいニッセイ同和損保では、令和4年4月からの新たな中期経営計画の核となる考え方に「CSV×DX（シーエスブイバイディーエックス）※1」を掲げ、お客さま・地域・社会とともに社会・地域課題の解決に取り組んでいます。

また、テレマティクス技術※2に関するノウハウを持つ同社では、移動手段による二酸化炭素排出量の削減取組を促進し、脱炭素社会の構築に向けた課題解決手段と付加価値を提供し、お客さまと社会の共通価値を創出し続けることを目指しています。

※1：CSV…Creating Shared Value（社会との共通価値の創造）

DX…Digital Transformation（データやデジタルを活用し、価値提供を変革させること）

※2：「テレコミュニケーション」と「インフォマティクス」を組み合わせた造語で、カーナビやGPS等の車載器と移動体通信システムを利用して、さまざまな情報やサービスを提供する仕組み

別紙2

キックオフイベント『脱炭素ライフスタイル ダイアログ』

【日時】2023年2月14日（火）18：30～20：30 / 開場18：00～（予定）

【場所】YOXO BOX（横浜市中区尾上町1-6 ICON関内1階）

及びオンライン配信

【募集人数】会場参加 30名、オンライン参加 50名（事前申込制・先着順）

【参加費】無料

【参加対象】

○脱炭素ライフスタイルに関心がある個人、NPO、企業（含ベンチャー・スタートアップ）、行政、その他関連機関の方

○登壇者の取組に関心がある方

○横浜市の循環経済や脱炭素ライフスタイル施策に関心がある方

【申込方法】下記イベントページからお申込みください。（Peatix利用）

<https://zerocarbon-230214.peatix.com>

【内容】

(1) 主催者あいさつ

(2) 本事業の紹介

(3) 今後の取組について

(4) 基調講演

『脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動』

井上雄祐氏〔環境省地球環境局地球温暖化対策課脱炭素ライフスタイル推進室 室長〕

(5) トークセッション ～脱炭素ライフスタイルの現在地（仮）～

『Regenerative & Wellbeingの時代へ』

柴沼俊一氏〔株式会社シグマクス・ホールディングス取締役、株式会社シグマクス・インベストメント代表取締役社長〕

『左近山団地パークプロジェクト』

熊谷玄氏〔株式会社スタジオゲンクマガイ 代表取締役〕

(6) 今後の案内

【イベント運営事務局】関内イノベーションイニシアティブ株式会社

【お問合せ先】電話：045-274-8701 E-mail：kii-info@massmass.jp

【登壇者プロフィール】

■井上雄祐氏〔環境省地球環境局地球温暖化対策課脱炭素ライフスタイル推進室 室長〕

2003年環境省入省。自然環境保全、環境税制、プラスチック資源循環等の業務に従事。英国エネルギー気候変動省、北九州市環境監視部長、環境再生・資源循環局制度企画室長などを経て、昨年7月より現職。



■柴沼俊一 氏〔株式会社シグマクス・ホールディングス取締役、株式会社シグマクス・インベストメント代表取締役社長〕

日本銀行、外資系コンサルティングファーム、ファンド投資先企業を経てシグマクスに参画。事業開発コンサルティングのほか、投資責任者としてベンチャー投資などに従事。未来社会を創造することをライフワークとし、社会への発信に加え多数のプロジェクトに参画。Future Society 22代表幹事。グロービス経営大学院教授。

<https://www.sigmaxyz.com/company/professional/>



■熊谷玄 氏〔STGK Inc. 代表（株式会社スタジオゲンクマガイ）〕

横浜生まれ。現代美術作家Studio崔在銀のアシスタント、earthscape inc. を経て、2009年3月、同社を設立。ランドスケープデザインを中心に、人の暮らす風景のデザインを行っている。愛知県立芸術大学、東京電機大学、千葉大学、東大まちづくり大学院にて非常勤講師。一般社団法人ランドスケープアーキテクト連盟理事。

主な仕事は「左近山みんなのにわ」「グランモール公園」「have a Yokohama 横浜駅西口仮囲いプロジェクト」「JR横浜タワー/うみそらデッキ」など。

<https://stgk.jp>



【概要】

循環経済等に資する魅力的な脱炭素ライフスタイルに関し、その促進を図ることを目的とした実証実験を行います。今年度は、ライフサイクルでの排出量が多い「移動」と「食」※1を対象として実施します。

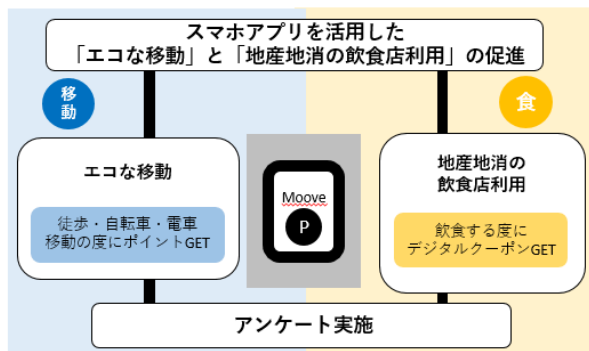
具体的には、あいおいニッセイ同和損保が開発した、GPS（全地球測位システム）により移動方法や移動距離を判別し、ポイントを付与するスマートフォンのアプリケーション「Moove(ムーブ)」※2等を活用し、ポイントによる「エコな移動」及び「地産地消の飲食店利用」への行動変容や温室効果ガス排出削減、サーキュラーエコノミーの構築に関する効果等について検証を行う実験を試行的に実施します。

実証実験については今年度の事業成果を踏まえ、来年度以降、参加者の増加や様々なライフスタイルへの対象拡大等を行うことを想定しています。

エコな移動：移動距離に応じ、また温室効果ガス排出量の少ない移動手段の場合に多くなるように、ポイントを付与します。

地産地消の飲食店利用：下記店舗にご協力いただき利用時にクーポンを付与します。

- ・TSUBAKI食堂（横浜市中区本町6-50-10 横浜市市庁舎 2階）
- ・横浜ビール 驛の食卓（横浜市中区住吉町6-68-1 2階）



実証実験イメージ



Moove 画面イメージ

※1：令和4年版 環境・循環型社会・生物多様性白書

※2：スマートフォンの位置情報等をもとに利用者の移動手段を自動判別・可視化し、移動手段に応じてポイントを付与するプログラム

【スケジュール】 2月3日（金） モニター募集開始

2月15日（水） 実証実験開始

3月15日（水） 実証実験終了

【モニター対象】 横浜市に在住、在勤、通学する方 かつ

iPhoneを使用でき、Mooveをダウンロードして利用できる方（最大500名）

【詳細・申込】

https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/ondanka/etc/lifestyle_2_023jissyo.html

【実証実験運営事務局】 あいおいニッセイ同和損保

【お問合せ先】 あいおいニッセイ同和損保 横浜支店 045-211-1247